



# しんでん

甲府市立新田小学校  
校長室だより 26-8号  
平成27年 1月22日

## 新年あけまして おめでとうございます

2015年が明けてかなり過ぎてしまいました  
が、皆様よいお年を迎えられたことと存じます。

今年は「未」年。「未」は「木」に葉「一」が  
ついた状態をさし、繁栄を表すのだそうです。子  
どもたちが伸び伸びと育ってくれることを期待し  
ます。



3学期は1年の始まりであると同時に学校では  
まとめの時期でもあります。締めくくりをしっか  
りで行い進級・進学に向け取り組んでもらいたい  
と思います。

始業式では、2人の児童が代表で今年の抱負を  
述べてくれました。

2年 M. S. さん (抜粋)

私は3学期にがんばりたいことが3つありま  
す。一つ目は、国語や算数のもんだいに、自分  
の意見をはっきり言うことです。二つ目は、自  
主学習をがんばりたいです。三つ目は、自分の  
ペースで行動しないで、まわりの様子を見なが  
ら行動したいです。

5年 N. T. さん (抜粋)

3学期にがんばりたいことは、苦手な教科の  
克服です。ぼくは理科が苦手です。でも、ポ  
イントさえ覚えておけば問題は解けると、お父  
さんに言われました。大好きな列車のことなら  
どんどん覚えることができるので、そのつもり  
で理科の問題に取り組んでいこうと思います。

理科以外にも、国語の漢字や算数の小数の計  
算など今まで心配なところも5年のまとめと  
して取り組みたいです。

もう一つは、スイミングでバタフライをきれ  
いに25m泳げるようになりたいです。

3学期には、児童会選挙や6年生を送る会、  
卒業式と6年生からバトンタッチを受ける行事  
がたくさんあります。5年生のまとめと6年生  
になる準備期間として、一日一日を大切に過  
していきたいと思います。

## 新しい先生の紹介



昨年12月より本  
校に勤務してくれて  
いる飯窪実香先生を  
紹介します。

先生は、昨年9月  
までアメリカに留学  
していました。です

から英語はペラペラ。それを生かし、5・6年生  
の外国語活動の時間に英語を教えてもらってい  
ます。

また、音楽にも精通しており、トランペットは  
小学校の時から吹いているそうです。今、新田小  
で様々なことに大活躍をしてくれています。

## 学校集会での「語り」

月に一度のペース、始業前に体育館に一堂に会  
し、学校集会を開いています。

校長の話の他、学級役員の任命、図工や習字の  
大会などの賞状伝達、音楽発表などを行ってい  
ます。その中で、1月16日(金)には朗読会を行  
いました。

本校では、今、児童に言語活動能力の向上を図  
ろうと研究の充実に努めています。その一環とし  
て、文学作品(詩)などの暗唱も取り入れていま  
す。研究主任の大久保先生からも「新田教育通信」  
が出され、金子みすゞさんの詩の暗唱の紹介もさ  
れたのもご存じだと思います。

そして、先に紹介した飯窪先生ですが、大学時  
代に「語り」に取り組んでいたという話を聞き、  
集会で披露してもらったのです。内容は、宮沢賢  
治の「雨にも負けず」です。ゆったりとした口調  
で、心情豊かに語ってくれました。また、冒頭の  
部分は英語にもしてくれました。

低学年にとっては、少々難しかったかもしれま  
せん。しかし、その時意味がわからなくても、暗  
記することにより、ふと思い出し、改めて文学作  
品に触れるきっかけにもなると思います。

裏に「雨にも負けず」を載せておきました。ぜ  
ひ暗記してみてください。

あめ ま  
雨にも負けず

みやざわ けんじ  
宮 沢 賢治

あめ ま  
雨にも負けず

かぜ ま  
風にも負けず

ゆき なつ あつ ま  
雪にも夏の暑さにも負けぬ

じょうぶなからだをもち

よく  
慾はなく

けつ おこ  
決して怒らず

しず わら  
いつも静かに笑っている

いちにち げんまいよんごう  
一日に玄米四合と

みそ すこ やさい た  
味噌と少しの野菜を食べ

あらゆることを

じぶん かんじよう い  
自分を勘 定に入れずに

みき わ  
よく見聞きし分かり

わす  
そして忘れず

のほら まつ はやし かげ  
野原の松の 林の陰の

ちい かや こや  
小さな萱ぶきの小屋にいて

ひがし びようき こども  
東に病 気の子供あれば

い かんびよう  
行って看 病してやり

にし つか はは  
西に疲れた母あれば

い いね たば お  
行ってその稲の束を負い

みなみ し ひと  
南に死にそうな人あれば

い  
行ってこわがらなくてもいいといい

きた けんか そしろう  
北に喧嘩や訴 訟があれば

つまらないからやめろといい

ひで とき なみだ なが  
日照りの時は 涙を流し

さむ なつ ある  
寒さの夏はおろおろ歩き

みんなにでくのぼーと呼ばれ

ほ  
褒められもせず

く  
苦にもされず

そういうものに

わたしはなりたい